

大阪19区支部長 政界のお医者さん Dr.^{ドクター}イトー

前衆議院議員

のぶ ひさ

いとう 信久

本号では、いとう信久さんの目指す政策などをお伝えします。



Profile

1964年生まれ。神戸大学医学部卒、大阪市立大学大学院医学研究科修了。医学博士。医療法人真愛会理事長。伊東くりにつく理事長。やしきたかじんの主治医。大阪大学国際医工情報センター招聘教授。衆議院議員当選（2期）。近著に「NKT細胞がん治療のすごい力」、「体の不調が5分で消える ありえへん！首治療」（ワニブックス）

いとう通信 発行元 / いとう信久後援会

いとう信久事務所

〒598-0055
大阪府泉佐野市若宮町7-13
田端ビル 4F

TEL : 072-463-8777
FAX : 072-463-8776



賛成!

大阪都構想の是非を問う住民投票が11/1(日)に予定されています。

- メリット① 広域行政一元化による二重行政の解消 → 成長する大阪
- メリット② 身近な基礎自治行政の拡充 → 優しい大阪
- メリット③ 民間でできることは民間に → 自立する大阪

現在、大阪市が担っている広域行政については、大阪府に一元化し、同時に基礎自治行政については特別区が担っていきます。

伊東だからできる、維新だからできる。

●憲法改正

昭和22年に施行されて以来70年以上改正されたことがない現行憲法を時代の変化に合わせて、わが国が抱える具体的問題を解決するために改正が必要です。

教育無償化、統治機構改革、憲法裁判所の設置という3点に絞り込み、議論を深めて国民のみ

●経済・観光

新型コロナウイルス感染症の拡大により国内のインバウンド産業は大打撃を受けました。一方で日本の医療水準の高さに世界が注目しています。

国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区を活用し、コ

なさまに選択肢を示すため、各党に具体的改正項目を速やかに提案することを促し、衆参両院の憲法審査会をリードして行きます。

日本維新の会が国に提出した改正案は私が日本維新の会憲法調査会事務長時代にまとめあげたものです。

ナ収束後の国際医療交流の推進や外国人訪日の回復・促進につなげ、我が国の主要政策課題である「健康大国」、「観光立国」の実現に貢献します。

泉州を医療の最先端地域にして、世界の富裕層と日本の架け橋となることを目指します。

コロナ禍の活動月誌



貝塚市福祉委員会・貝塚ライオンズクラブの皆さんと子供食堂の事業として地元飲食店のご協力頂き、お弁当をお配りしました。また、南海二色浜駅前に完成した「ホテル奏」を見学させて頂きました。



田尻漁港の朝市にお邪魔し、新鮮なアナゴの天ぷらを美味しくいただきました。その後、ふれ愛センターに場所を移し、いとう信久後援会田尻支部の役員会を開催しました。



「岬ラグビースポーツ少年団」の練習にコーチとして参加しました。その後、「ブルーベリーファームみさき」を訪ね、完熟ブルーベリーの摘み取り方を教えて頂きました。

